

体育祭を終えて

校長 森 武晴

令和6年5月11日（土）、令和6年度 島原農業高等学校 第68回体育祭が行われました。9月に行っておりました本校体育祭が5月実施となって、今回で3回目の体育祭。当日は絶好の体育祭日和となりました。

3学期から準備を進めてきましたが、練習期間が短く、天候も芳しくなかった中で、生徒たちは練習不足、準備不足であったと思います。しかしながら、「**響け 鼓動 ~すべてを出しきり、つなげ笑顔~**」のテーマのもと、各団の一人一人が躍動し、持てる力を出し切り、笑顔でつないだ素晴らしい体育祭となりました。何度も感動し、熱くなる場面が多々あり、**生徒一人一人の鼓動**、そして、**学科・団の繋がり**の深さ、そして、**素晴らしい笑顔**が体育祭をご観覧いただいた皆さん全員に伝わっておりました。

開会時、『**団のために、優勝するために、練習してきたパフォーマンスの成功のために、**「何をすべきか」、「何が必要なのか」、「どうすればいいのか」をそれぞれが感じとり、感じて動く「感動」を行ない、そして、感動し、なしたことに そして各団全員に感謝できるよう、全員、全力で **頑張って 輝こう!**』と話しておりましたが、島農生全員が競技・演技に対して真剣にすべてを出し切り、一人一人が**輝き**、そして、**感動**を生んだ**感謝の想い溢れる**体育祭をつくりあげてくれました。

生徒には『この成功体験を活かし、「**やればできる**」という自信と誇りをもって、これからの高校生活に臨んでもらいたい』と閉会式時に激励したところです。

最後に、今回の体育祭開催にあたり、ご理解・ご協力をいただき、また、あたたかいご声援をいただきましたすべての皆様方に心から感謝を申し上げ、令和6年度体育祭の報告とさせていただきます。

令和6年5月